

平成 28 年 6 月 23 日

「国蝶・オオムラサキがにぎわう里づくり！」報告書

佐沼ロータリークラブ

会長 岩淵 正彦 殿

佐沼ロータリークラブ

環境保全委員会 委員長 山田 直志

副委員長 佐々木 淳

委員 及川 富男 三浦孝次郎

杉田 広仁 後藤 益美

当クラブは 2008 年度の「登米市環境市民会議」設立にあたり、発起人として又「自然環境保全」の立場から独自の支援事業「伊豆沼・長沼縄文の森づくりプロジェクト」を立ち上げました。

活動の中心テーマとして「国蝶・オオムラサキがにぎわう里づくり!」を掲げ、当初 4 年間に渡り幼虫の食樹である「エノキ」や成虫の食樹「クヌギ・コナラ」をはじめ 7 種 628 本を、長沼フートピア公園を中心に植樹しその成長を育ててきました。

8 年目を迎え、樹木も順調に成育してきたので、この春、登米市北方小学校の飼育・繁殖舎（昨 8 月 1 日エノキ 10 鉢を搬入：別添・写真参照）にオオムラサキの幼虫 2 匹（今年 4 月 22 日、宮城教育大学バタフライガーデンにて採取）を放虫飼育しております。当初長さ 1 センチ程度の幼虫も大人の親指程に成長し、（別添・写真参照）今では「さなぎ」（別添・写真参照）となって、羽化の時を待っているところです。（通常 6 月下旬～7 月上旬頃にかけて羽化が始まります）

追伸 このプログラムは「宮城教育大学環境教育実践研究センター 准教授 溝田 浩二 氏」の実践教育指導の下、「北方地区コミュニティ推進協議会」「NPO 法人伊豆沼・長沼水環境ネットワーク」「佐沼ロータリークラブ」「北方公民館」の管理・運営の下進められております。

現在、北方小学校菅原克也 校長のご推薦により「ユネスコの少年・少女環境教育プログラム」として「支援対象事業指定」が貰えるように、佐藤信男教育長を通じて、関係機関に働きかけていると言う事です。

（以下：添付写真参照） : 5 月 29 日現在
: 6 月 03 日現在
: 6 月 21 日現在 :

以上

「国蝶・オオムラサキがにぎわう里づくり！」・写真1



「オオムラサキ・完全変態の課程」です



今年4月22日幼虫2匹（米粒大）採取（宮城教育大学バタフライガーデン）
飼育・繁殖舎放虫、ほぼ1か月後の「雄姿」・・・なかなか見つけにくい。

監修：佐沼ロータリークラブ・環境保全委員会

「国蝶・オオムラサキがにぎわう里づくり！」・写真2



大人の親指大に成長した幼虫（特徴：頭部に1対の角、背中に4対の突起）



「かわいらしい顔」で愛嬌も？

監修：佐沼ロータリークラブ・環境保全委員会

「国蝶・オオムラサキがにぎわう里づくり！」・写真3



「エノキ」の葉っぱ色で見つけるのも大変！



「どこにいるのかなー？」と真剣に探索中！

監修：佐沼ロータリークラブ・環境保全委員会

「国蝶・オオムラサキがにぎわう里づくり！」・写真4



「やっとめっけ！」子供たちも嬉しそう。



けっこう「デカイ」が怖くはない・・・？

監修：佐沼ロータリークラブ・環境保全委員会

「国蝶・オオムラサキがにぎわう里づくり！」・写真5



「さなぎ」は「えのきの葉」に擬態（見つけるまで20分）



「エノキ 10 鉢」飼育・繁殖舎：看板取付作業中！

監修：佐沼ロータリークラブ・環境保全委員会